

平成29年6月12日

保護者様

京都市立醍醐西小学校
校長 森川 浩孝

感染性胃腸炎の予防について

向夏の候、保護者の皆様におかれましてはますます健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校学校教育活動にご協力・ご理解賜り、誠にありがとうございます。

さて、先週来、本校低学年児童を中心に、下痢・嘔吐・腹痛による欠席児童が増えてきました。登校している児童の中にも、体調不良を訴えたり早退したりしている児童も見られます。感染性胃腸炎の疑いと診断されたケースもあり、学校医や関係機関との連携を深めながら、児童の健康管理に努めております。

つきましては、保護者の皆様には、下記の点にご留意いただき、ご家庭での子どもの健康管理等に万全を期していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

記

- 1) 感染性胃腸炎の症状は、主に「下痢」「嘔吐」「腹痛」「胸のむかつき」等です。お子たちにこのような症状がある場合は、早めに医療機関に受診ください。
 - 2) ご家庭で嘔吐物や下痢便を処理する場合は、マスク、使い捨て手袋を使用の上、塩素系消毒液で消毒を行い、二次感染の予防に努めてください。
※塩素系消毒液…500mlペットボトルの水に、ペットボトルのキャップ2杯分の台所用塩素系漂白剤を入れて混和する。
 - 3) 感染性胃腸炎予防については、手洗い（石鹼等で十分に）、うがいの励行、十分な睡眠と栄養をとるようにして、体調を良好に保つようにしてください。
 - 4) 症状が治まってもすぐに登校するのではなく、医師等の指示に従い、感染拡大の予防に努めてください。また、健康観察時に、上記等の新たな症状がみられる場合は、学校にご連絡ください。
- 【醍醐西小学校 TEL 571-0221】